

UIB-02オンラインマニュアル

ソフトウェア使用条件

本製品の付属CD-ROMには、本製品を利用するために必要なソフトウェアプログラム（以下「ソフトウェア」と呼びます）が収録されています。株式会社ズーム（以下「(株)ズーム」と呼びます）は、以下の使用条件とともにご提供するソフトウェアの使用する権利を、下記条項に基づいてお客様に許諾いたします。また、お客様も下記条項にご同意の上、ソフトウェアをご使用いただくものとします。

- ソフトウェアの著作権、付属のマニュアルや文書の著作権、およびその他一切の権利はすべて（株）ズームに帰属します。
- ソフトウェアの無断配布／販売／リース／レンタル／改変／リバースエンジニアリングを禁止します。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本ソフトウェアを使用することを禁止します。本ソフトウェアを用いて他者の著作権を侵害する行為が行われた場合でも、（株）ズームは一切の責任を負いません。
- 直接／間接を問わず、ソフトウェアを使用したことによる損害、または第三者からのいかなる請求についても、（株）ズームは一切の責任を負いません。本ソフトウェアを使用したことにより、ハードディスク上の記憶内容が失われた場合でも、修復や保障には一切応じかねます。
- ソフトウェアの仕様は将来予告なしに変更する場合があります。

商標について

- ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Appleの名称、ロゴは米国Apple Computerの登録商標です。
- ・ Macintoshは米国Apple Computerの商標です。
- ・ PC-9800は、日本電気株式会社の商品名称です。
- ・ Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- ・ その他文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

はじめに

UIB-02について

UIB-02は、拡張用スロットを搭載したZOOM MRSシリーズ（以下“MRSシリーズ”と総称します）に対応したUSBインターフェースボードです。MRSシリーズにこのボードを接続し、コンピュータ（Windows／Macintosh）とUSB接続することで、MRSシリーズのプロジェクトをコンピュータにバックアップ／リストアしたり、MRSシリーズのオーディオトラックをコンピュータのオーディオデータに変換したりできます。

CD-ROMの内容

UIB-02に付属のCD-ROMには、次の各項目が収録されています。

¥UIB_02	
— ¥DRIVERS	
— ¥WIN98	UIB-02 Windows98/SE用ドライバ
— Deldev.ini	
— Uninst.exe	
— Unplug.exe	
— Zmusat2s.ini	
— Zmusat2s.mpd	
— Zmusat2u.ini	
— Zmusat2u.sys	
— ¥UTILITY	
— ¥MAC	Mac用アプリケーション
— os_9.sit	Audio File Manager MacOS 9用インストーラー
— os_X.dmg	Audio File Manager MacOS X用インストーラー
— AFM_mac_E.pdf	Audio File Managerオンラインマニュアル英語
— AFM_mac_J.pdf	Audio File Managerオンラインマニュアル日本語
— ¥WIN	Windows用アプリケーション
— TakeWave.exe	Audio File Manager実行ファイル
— AFM2_OJ.pdf	Audio File Managerオンラインマニュアル日本語
— AFM2_OE.pdf	Audio File Managerオンラインマニュアル英語
— UIB02E.pdf	UIB-02オンラインマニュアル英語
— UIB02J.pdf	UIB-02オンラインマニュアル日本語

動作環境

UIB-02を使用するために必要な機器および環境は、次の通りです。

● MRSシリーズ

MRS-1044

MRS-1044CD

MRS-1266

MRS-1266CD

(※MRS-4では利用できません) (※2002年12月現在)

● コンピューター

USB端子を搭載したWindowsマシン (Pentium166MHz以上を推奨) またはApple Macintoshシリーズ

(※NEC PC-9800シリーズには対応していません)

● 空きハードディスク容量 100MB以上

● 搭載メモリ 32MB以上

● 対応OS

次の表は、現行のMRSシリーズにUIB-02を装着した場合の対応OSを表わしたものです。

対応 OS	MRS-1266	MRS-1044
Windows98/98SE	○	○
WindowsMe	●	●
Windows2000	●	●
WindowsXP	●	●
MacOS 9.1	●	--
MacOS 9.2	●	--
MacOS X	●	--

● : OS標準のドライバを使用

○ : ZOOMが提供する独自のドライバを使用

ノート :

- ・ Macintosh環境では、UIB-02の動作はUSB1.1の仕様に準拠します。
- ・ Windows環境では、PC側のUSBポートがUSB 2.0に対応している場合のみ、USB2.0の仕様に準拠します。それ以外の場合はUSB1.1の仕様に準拠します。
- ・ Windows98/98SEでは、ZOOMが提供する独自のドライバをインストールする必要があります (→ P 7)
- ・ UIB-02を装着したMRS-1044 (MRS-1044CDを含みます) は、MacOSには対応していません。

● その他

- ・ CD-ROMドライブ×1
- ・ USBケーブル×1

ノート：

これらの動作環境は、条件を満たすすべての機器において動作を保証するものではありません。条件を満たすコンピューターでも、固有の仕様や使用環境によっては、正常に動作しない場合があります。

マニュアルの記述について

本マニュアルでは、Windowsの操作方法とMacintoshの操作方法を個別に説明しています。また、Windows環境では、Windows98（98SEを含みます）のみ、若干操作手順が異なります。このため、WindowsMe／2000／XPとWindows98を分けて説明しています。

Windows環境でUIB-02を使用する

コンピューターとMRSシリーズをオンラインにする (WindowsMe／2000／XP)

1. MRSシリーズの拡張スロットにUIB-02を装着してください。

装着方法は、UIB-02に付属の別紙をご参照ください。

2. コンピューターの電源を入れ、WindowsMe／2000／XPを起動してください。

3. MRSシリーズをUSBモードで起動してください。

USBモードでは、MRSシリーズがコンピューターのUSBデバイスとして動作します。MRSシリーズをUSBモードで起動する方法は、次の通りです。

●MRS-1044／MRS-1044CDの場合

[CLEAR]キーを押しながらリアパネルの[POWER]スイッチを押して電源を入れ、ディスプレイに“ROM UTILITY MRS-1044”と表示されたら、[CLEAR]キーを放して[AUTO PUNCH IN/OUT]キーを押します（表示が“USB WORKING”に変わります）。

●MRS-1266／MRS-1266CDの場合

[CLEAR]キーを押しながらリアパネルの[POWER]スイッチを押して電源を入れ、ディスプレイに“ROM UTILITY MRS-1266”と表示されたら、[CLEAR]キーを放して[AUTO PUNCH IN/OUT]キーを押します（表示が“I/F WORKING”に変わります）。

ノート：

上記以外のMRSシリーズをUSBモードで起動する方法は、その機種の実用マニュアルをご参照ください。

4. コンピューターとMRSシリーズに装着されたUIB-02を、USBケーブルで接続してください。

コンピューターがMRSシリーズを汎用のUSBデバイスとして認識し、ドライバが自動的にインストールされます。

5. “マイコンピュータ”を開き、新しいローカルディスクが追加されていることを確認してください。

ドライバが正しくインストールされ、コンピューターとMRSシリーズがオンライン状態になっていれば、“マイコンピュータ”に新しいローカルディスク（ボリューム）が追加されます。これらのボリュームは、コンピューター側から認識されたMRSシリーズのハードディスクを表しています。

ヒント：

新しいローカルディスクが表示されないときは →P 17

また、コンピューターとMRSシリーズがオンライン状態のときは、Windows画面のタスクトレイに、USBデバイスを安全に取り外すためのプログラム（“ハードウェアの取り外し” “ハードウェアの安全な取り外し” など、使用するOSに応じて呼び名が異なります）が追加されます。このプログラムは、MRSシリーズとコンピューターのUSB接続を解除して、オフライン状態にするときに使用します。

ヒント：

ドライバのインストールが自動実行されるのは、初回だけです。2回目以降は、USBモードで起動したMRSシリーズとコンピューターをUSB接続するだけで、自動的にオンライン状態となります。

コンピューターとMRSシリーズをオフラインにする (WindowsMe／2000／XP)

コンピューターとMRSシリーズがオンラインのときに、USBケーブルを抜いたりMRSシリーズの電源を切ると、誤動作やファイル破損の原因となります。コンピューターとMRSシリーズのUSB接続を解除するときは、必ず以下の手順で操作してください。

1. タスクトレイにあるハードウェアを取り外すプログラムのアイコンをマウスの左ボタンでクリックしてください。

現在接続されているUSB機器のデバイス名が表示されます。MRSシリーズは、使用しているWindowsのOSに応じて、“USBディスク” “USB大容量記憶装置デバイス” などと表示されます。

2. MRSシリーズに対応するデバイス名を選択してください。

オフラインになると、ハードウェアが安全に取り外せることを示すメッセージが表示されます。

3. WindowsMe／Windows2000をお使いの場合は、メッセージが表示されているダイアログボックスの[OK] ボタンをクリックしてください。

上記のOSでは、この状態でUSB接続の解除を安全に行えるようになります。

ヒント：

- ・ WindowsXPではメッセージが表示された時点でUSB接続の解除が行えます。
- ・ オフラインになると、タスクトレイの取り外しを行うプログラムが自動終了します。

4. MRSシリーズの[POWER] スイッチを押し、続いて [ENTER] キーを押してください。

MRSシリーズの電源がオフになります。このまま電源を入れ直せば、通常モードで起動します。

5. 必要に応じてUSBケーブルを取り外してください。

ノート：

2回目以降の操作でも、コンピューターとMRSシリーズのUSB接続を解除してMRSシリーズの電源を切るときは、必ず上記の手順で操作してください。

コンピューターとMRSシリーズをオンラインにする (Windows98)

1. MRSシリーズの拡張スロットにUIB-02を装着してください。

装着方法は、UIB-02に付属の別紙をご参照ください。

2. コンピューターの電源を入れ、Windows98を起動してください。

3. UIB-02に付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブに挿入してください。

ノート：

後でドライバをインストールするときに、CD-ROMのドライブ名（アルファベット）が必要になります。“マイ コンピュータ”のアイコンをダブルクリックし、ドライブ名を確認してください。

4. MRSシリーズをUSBモードで起動してください。

USBモードでは、MRSシリーズがコンピューターのUSBデバイスとして動作します。USBモードで起動する方法は、次の通りです。

● MRS-1044／MRS-1044CDの場合

[CLEAR]キーを押しながらリアパネルの[POWER]スイッチを押して電源を入れ、ディスプレイに“ROM UTILITY MRS-1044”と表示されたら、[CLEAR]キーを放して[AUTO PUNCH IN/OUT]キーを押します（表示が“USB WORKING”に変わります）。

● MRS-1266／MRS-1266CDの場合

[CLEAR]キーを押しながらリアパネルの[POWER]スイッチを押して電源を入れ、ディスプレイに“ROM UTILITY MRS-1266”と表示されたら、[CLEAR]キーを放して[AUTO PUNCH IN/OUT]キーを押します（表示が“I/F WORKING”に変わります）。

ノート：

上記以外のMRSシリーズをUSBモードで起動する方法は、その機種のオペレーションマニュアルをご参照ください。

5. コンピューターとMRSシリーズに装着されたUIB-02を、USBケーブルで接続してください。

コンピューターのディスプレイに、ドライバをインストールするための画面“新しいハードウェアの追加ウィザード”が表示されます。

6. [次へ]ボタンをクリックしてください。

ヒント：

“新しいハードウェアの追加ウィザード”の画面が表示されないときは →P 17

7. 検索方法を指定する画面で「使用中のデバイスに最適な…」にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。

8. 検索する場所を指定する画面で「検索する場所の指定」にチェックを入れ、“[CD-ROMのドライブ名]:”と入力して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

例えば手順3で確認したドライブ名が“D”のときは、“D¥DRIVERS¥WIN98”と入力します。

9. インストールする準備ができたことを知らせる画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ヒント：

もしドライバが見つからないときは、[戻る]ボタンをクリックして、ドライブ名の指定が適切かどうか、CD-ROMが挿入されているかどうかをご確認ください。

10. ソフトウェアのインストールが完了したことを知らせる画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックしてください。

しばらくすると、MRSシリーズの内蔵ハードディスクのもう1つのボリュームが検出され、手順1と同じようにドライバをインストールする画面が表示されます。

11. 手順6～10と同じ要領で、ドライバのインストールを行ってください。これでドライバのインストールは完了です。

12. “マイコンピュータ”を開き、新しいローカルディスクが追加されていることを確認してください。

ドライバが正しくインストールされ、コンピューターとMRSシリーズがオンライン状態になっていれば、“マイコンピュータ”に新しいローカルディスク（ボリューム）が追加されます。これらのボリュームは、コンピューター側から認識されたMRSシリーズのハードディスクを表しています。

ヒント：

新しいローカルディスクが表示されないときは →P 17

なお、コンピューターとMRSシリーズがオンライン状態のときは、Windows98の画面のタスクトレイに“USB Storage Unplug” というプログラムが追加されます。
このプログラムは、MRSシリーズとコンピューターのUSB接続を解除するときに使用します。

ヒント：

- ・ ドライバのインストールが必要なのは、初回だけです。2回目以降は、USB モードで起動したMRSシリーズとコンピューターをUSB 接続するだけで、自動的にオンライン状態となります。
- ・ ドライバをアンインストール（削除）したい場合は、付属CD-ROMに収録されているソフトウェア“UNINST.EXE”を利用します。

コンピューターとMRSシリーズをオフラインにする (Windows98)

コンピューターとMRSシリーズがオンラインのときに、USBケーブルを抜いたりMRSシリーズの電源を切ると、誤動作やファイル破損の原因となります。

コンピューターとMRSシリーズのUSB接続を解除するときは、必ず以下の手順で操作してください。

1. タスクトレイの“USB Storage Unplug” のアイコンをクリックし、
[ZOOM ATA/ATAPI Bridge Mass Storage Controller...]を選択してください。

“USB Storage Unplug” は、コンピューターとMRSシリーズをオフラインにするためのプログラムです。このプログラムは、オンラインになったときに、自動的にタスクトレイに追加されます。

オフラインになると、ハードウェアが安全に取り外せることを示すメッセージが表示されます。

2. メッセージが表示されているダイアログボックスの[OK] ボタンをクリックしてください。

この状態でUSB接続の解除を安全に行えるようになります。

ヒント：

オフラインになると、タスクトレイの“USB Storage Unplug” が自動終了します。終了しない場合は、アイコンを右クリックし[USB Storage Unplugの終了]を選んでください。

3. MRSシリーズの[POWER] スイッチを押し、続いて [ENTER] キーを押してください。

MRSシリーズの電源がオフになります。このまま電源を入れ直せば、通常モードで起動します。

4. 必要に応じてUSBケーブルを取り外してください。

ノート：

2回目以降の操作でも、コンピュータとMRSシリーズのUSB接続を解除し、MRSシリーズの電源を切るときには、必ず上記の手順で操作してください。

プロジェクトのバックアップとリストア

ローカルディスクとして認識されているMRSシリーズからプロジェクトのデータをコンピュータ側にコピーすることで、MRSシリーズのプロジェクトのバックアップを作成できます。バックアップしたプロジェクトのデータは、いつでもMRSシリーズにリストア（再保存）できます。

プロジェクトをバックアップする

1. USBモードで起動したMRSシリーズとWindowsコンピュータをUSBケーブルで接続し、オンラインとなっていることを確認してください。
2. “マイコンピュータ”を開き、MRSシリーズのハードディスクをダブルクリックしてください。

MRSシリーズのハードディスクの内容が表示されます。プロジェクトのデータは、“PROJxxx”（“xxx”の位置に000～999のプロジェクト番号が入ります）というフォルダに、プロジェクトごとに分けて保存されています。

ノート：

- ・ “MRS-FAC” ボリュームはMRS-1266のシステムが利用します。このボリュームの内容は変更しないでください。
- ・ MRS シリーズのハードディスクに含まれるプロジェクト以外のフォルダやファイルは、MRSシリーズのシステムに関連するものです。誤って削除しないように十分ご注意ください。

3. MRSシリーズのハードディスクからバックアップしたいプロジェクトのフォルダを選択し、メニューバーの[編集]メニューから[コピー]を選んでください。
4. Windowsコンピュータ側のバックアップ先となるドライブ／フォルダを開き、メニューバーの[編集]メニューから[貼り付け]を選択してください。

これでプロジェクトのデータがコンピュータのハードディスクにバックアップされます。必要に応じて、他のプロジェクトも同じ要領でバックアップしてください。

プロジェクトをリストアする

Windowsコンピュータにバックアップしたプロジェクトを、MRSシリーズの内蔵ハードディスクに戻します。

1. USBモードで起動したMRSシリーズをWindowsコンピュータとUSBケーブルで接続し、オンラインとなっていることを確認してください。
2. Windowsコンピュータ側で、以前バックアップしたプロジェクトが保存されているドライブ／フォルダを開いてください。
3. リストアしたいプロジェクトのフォルダを選択し、メニューバーの[編集]メニューから[コピー]を選択してください。
4. “マイコンピュータ”を開き、ローカルディスクとして認識されているボリュームをダブルクリックして開いてください。

5. メニューバーの[編集]メニューから[貼り付け]を選択してください。

プロジェクトがMRSシリーズのハードディスクにリストアされます。同じ要領で、必要に応じて他のプロジェクトをリストアしてください。

なお、MRSシリーズのハードディスクに、リストアするフォルダと同じ名前のフォルダがあるときは、ファイルを上書きするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

この画面で、[すべて上書き]ボタンをクリックすれば、リストアされるプロジェクトに上書きされます（ただし、上書きされないファイルはそのまま残ります）。

Windows版Audio File Managerを使う

付属CD-ROMには、コンピュータとMRSシリーズ間でオーディオデータをやり取りするアプリケーションプログラム“Audio File Manager”が収録されています。このプログラムを使えば、MRSシリーズの任意のVテイクをWAVファイルに変換したり、既存のWAV／AIFFファイルをMRSシリーズの任意のVテイクに変換できます。

なお、本ソフトウェアは、予告なしにバージョンアップする場合があります。最新情報については、株式会社ズームのWebサイト（<http://www.zoom.co.jp>）をご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

1. UIB-02の付属CD-ROMをコンピュータのドライブに挿入し、“マイコンピュータ”を開いてCD-ROMのドライブ名をダブルクリックしてください。

2. “UTILITY” フォルダ内の “WIN” フォルダをクリックし、メニューバーの[編集]メニューから[コピー]を選択してください。

3. ソフトウェアのインストール先となるドライブ／フォルダを開き、メニューバーの[編集]メニューから[貼り付け]を選択してください。

Audio File Managerを含む “WIN” フォルダがコピーされます。

Audio File Managerの起動と終了

1. Audio File Managerを起動するには、コピーされた “WIN” フォルダを開き、“TakeWave” アイコンをダブルクリックしてください。

2. Audio File Managerを終了するには、[EXIT]ボタンをクリックしてください。

ヒント：

Audio File Managerの詳しい操作方法は、Audio File Manager専用のオンラインマニュアル “AFM2_OJ.pdf” をご参照ください。

Macintosh環境でUIB-02を使用する

MacintoshとMRSシリーズをオンラインにする

MRSシリーズとMacintoshをUSB経由で接続し、ファイルのやり取りが行える状態にします。

1. MRSシリーズの拡張スロットにUIB-02を装着してください。

装着方法は、UIB-02に付属の別紙をご参照ください。

2. コンピューターの電源を入れ、Mac OSを起動してください。

3. MRSシリーズをUSBモードで起動してください。

USBモードでは、MRSシリーズがコンピューターのUSBデバイスとして動作します。MRSシリーズをUSBモードで起動する方法は、次の通りです。

● MRS-1266/MRS-1266CDの場合

[CLEAR]キーを押しながらリアパネルの[POWER]スイッチを押して電源を入れ、ディスプレイに“ROM UTY MRS-1266”と表示されたら、[CLEAR]キーを放して[AUTO PUNCH IN/OUT]キーを押します（表示が“I/F WORKING”に変わります）。

ノート：

- ・ UIB-02を装着したMRS-1044/MRS-1044CDは、MacOSには対応していません。
- ・ 上記以外のMRSシリーズをUSBモードで起動する方法は、その機種の実用マニュアルをご参照ください。

4. コンピューターとMRSシリーズに装着されたUIB-02を、USBケーブルで接続してください。

Macintoshが自動的にMRSシリーズを認識し、MRSシリーズの内蔵ハードディスクがローカルディスク（ボリューム）としてデスクトップにマウントされます（MacOS 9.xの場合）。

ノート：

MacOS Xでは、MRS-1266のハードディスクを認識すると“MRS-USR”のほかに“MRS-FAC”という名称のボリュームがマウントされます。“MRS-FAC”ボリュームは、MRS-1266のシステムが利用します。このボリュームの内容は絶対に変更しないでください。

MacintoshとMRSシリーズをオフラインにする

MacintoshとMRSシリーズがオンラインのときに、USBケーブルを抜いたりMRSシリーズの電源を切ると、誤動作やファイル破損の原因となります。MacintoshとMRSシリーズの接続を解除するときは、必ず以下の手順でオフラインにしてください。

1. デスクトップにマウントされているボリュームのアイコンを、ごみ箱にドラッグ&ドロップしてください。

MacintoshとMRSシリーズがオフラインになります。この状態で、USB接続の解除が安全に行えます。

ヒント：

MacOS Xでは、MRS-1266 とオンラインのときに“MRS-USR” または“MRS-FAC” のどちらか片方のアイコンをごみ箱にドラッグ&ドロップするだけで、USB接続の解除ができます。

2. MRSシリーズの[POWER]スイッチを押してください。

MRSシリーズのディスプレイに、[ENTER]キーを押してシャットダウンするように促すメッセージが表示されます。

3. MRSシリーズの[ENTER]キーを押してください。

MRSシリーズの電源がオフになります。このまま電源を入れ直せば、通常モードで起動します。

4. 必要に応じてUSBケーブルを取り外してください。

ヒント：

2回目以降の操作でも、MacintoshとMRSシリーズのUSB接続を解除して、MRSシリーズの電源を切るときには、必ず上記の手順で操作してください。

プロジェクトのバックアップとリストア

ローカルディスクとしてデスクトップにマウントされているMRSシリーズからプロジェクトのデータをコンピューター側にコピーすることで、MRSシリーズのプロジェクトのバックアップを作成できます。バックアップしたプロジェクトのデータは、いつでもMRSシリーズにリストア（再保存）できます。

プロジェクトをバックアップする

ローカルディスクとしてデスクトップにマウントされているMRSシリーズから、プロジェクトのデータをMacintoshコンピューター側にコピーすることで、MRSシリーズのプロジェクトのバックアップを作成できます。バックアップしたプロジェクトのデータはいつでもMRSシリーズにリストア（再保存）できます。

1. USBモードで起動したMRSシリーズとMacintoshをUSBケーブルで接続し、オンラインになっていることを確認してください。

2. デスクトップにマウントされたボリュームをダブルクリックしてください。

MRSシリーズの内蔵ハードディスクの内容が表示されます。プロジェクトのデータは、“PROJxxx（xxxの位置に000～999のプロジェクト番号が入ります）”というフォルダに、プロジェクトごとに分けて保存されています。

ノート：

プロジェクト以外のファイルやフォルダは、MRSシリーズのシステムに関連するものです。誤って削除しないよう十分ご注意ください。MRSシリーズの内蔵ハードディスクの内容については、MRSシリーズオペレーションマニュアルの巻末の資料をご参照ください。

3. バックアップしたいプロジェクトのフォルダを選択し、Macintoshのハードディスク内部にドラッグ&ドロップしてください。

ノート：

- ・ プロジェクトのフォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしても、そのフォルダがデスクトップ上に移動するだけで、コピーはされません。また、デスクトップに移動したフォルダは、MRSシリーズで認識できなくなりますので、ご注意ください。
- ・ プロジェクトを元の位置に残しながら、コピーをデスクトップ上に作りたい場合は、Optionキーを押しながらフォルダをドラッグ&ドロップしてください。

プロジェクトをリストアする

Macintoshにバックアップしたプロジェクトを、MRSシリーズの内蔵ハードディスクに戻します。

1. USBモードで起動したMRSシリーズとMacintoshをUSBケーブルで接続し、オンラインになっていることを確認してください。
2. 以前バックアップしたプロジェクトが保存されているドライブ／フォルダを開いてください。
3. リストアしたいプロジェクトのフォルダを選択し、ボリュームにドラッグ&ドロップしてください。

プロジェクトがMRSシリーズの内蔵ハードディスクにリストアされます。必要に応じて、他のプロジェクトも同じ要領でリストアしてください。なお、MRSシリーズのハードディスクに、リストアするフォルダと同じ名前のフォルダがあるときは、上書きするかどうかを尋ねるポップアップウィンドウが表示されます。

このポップアップウィンドウでOKボタンをクリックすれば、リストアされるプロジェクトに上書きされます。

Macintosh版Audio File Managerを使う

付属CD-ROMには、コンピュータとMRS-1266間でオーディオデータをやり取りするアプリケーションプログラムAudio File Managerが収録されています。このプログラムを使えば、MRS-1266の任意VテイクをWAVファイルに変換したり、既存のWAV/AIFFファイルをMRS-1266の任意のVテイクに変換できます。

なお、本ソフトウェアは、予告なしにバージョンアップする場合があります。最新情報については、株式会社ズームのWebサイト (<http://www.zoom.co.jp>) をご覧ください。

ソフトウェアをインストールする

1. UIB-02に付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブに挿入してください。
2. “UTILITY” フォルダ内の “MAC” フォルダにある “os_9.sit” (MacOS 9用)または “os_X.dmg” (MacOS X用)を開き、インストーラー “MRS File Manager Installer” をデスクトップまたはMacintoshのハードディスク内の任意の位置にコピーし、ダブルクリックしてください。
3. インストーラーのダイアログに従って、ソフトウェアをインストールしてください。

ヒント：

インストールが終わったら、インストーラーは削除して構いません。

Audio File Managerの起動と終了

1. Audio File Managerを起動するには、Audio File Managerアイコンをダブルクリックしてください。
2. Audio File Managerを終了するには、[EXIT]ボタンをクリックしてください。

ヒント：

Audio File Managerの詳しい操作方法は、Audio File Manager専用のオンラインマニュアルをご参照ください。

故障かな？と思われる前に

UIB-02のインストールがうまくいかないとき、動作がおかしいと感じたときは、まず次の項目を確認してください。

■ MRSシリーズのハードディスクがコンピューターで認識されない

- MRSシリーズの対応OSを確認してください。
- MRSシリーズがUSBモードで動作していることを確認してください。
- USBケーブルが適切に接続されていることを確認してください。すでに接続されているときは、USBケーブルを引き抜き、もう一度接続してみてください。
- OSがWindows98の場合は、ドライバをアンインストールし、もう一度ドライバをインストールしてみてください。

■ Windows98が動作しているコンピューターをUIB-02とUSBケーブルで接続しても、「新しいハードウェアの追加（検索）ウィザード」の画面が表示されない

- MRSシリーズがUSBモードで動作していることを確認してください。
- USBケーブルが適切に接続されていることを確認してください。すでに接続されているときは、USBケーブルを引き抜き、もう一度接続してみてください。
- すでにドライバがインストールされている場合は、「新しいハードウェアの追加（検索）ウィザード」の画面は表示されません。

■ USBケーブルを引き抜いたら、コンピューターの動作が不安定になった

コンピューターとMRSシリーズの通信をオフラインにする前に接続を解除すると、コンピューターの動作が不安定になる場合があります。接続を解除するときは、最初に必ず通信をオフラインにしてください（Windows→P 6、P 9／Macintosh→P 14）。

■ コンピューター用のディスクユーティリティがMRSシリーズのハードディスクのエラーを検出した

MRSシリーズのハードディスクに問題がなくても、コンピューター用のディスクユーティリティソフト（スキャンディスクなど）がエラーを検出する場合があります。ディスクの修復は必要ありません。